



<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者とのやりとりや、仲立ちの中で、自ら周りの人や物にかかわっていくことを喜ぶ。 ・簡単な身の回りのことに興味を持ち、自分でする喜びを感じる。 ・新しい環境に慣れる。 	<p>行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・身体測定 ・乳児集会 ・卒園式 ・懇談会 	<p>長時間保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の友達や、色々な保育者に関わり楽しく過ごす。 	<p>家庭連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園での成長の姿や、家庭での成長の姿を伝え合い、喜び合う。 ・不安なく進級を迎えられるように、保護者の気持ちに寄り添い、判りやすく説明をし、期待を持てるようにする。 	<p>自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し、保護者の協力の下、薄着で過ごすことができた。大きな病気もせず、すくすく成長してくれたと思う。 ・保育者とのやり取りは、時折2語文、3語文も出るようになり、また我がままも遠慮なく出ているので園に十分なじんんでいると感じる。新年度に向け新しい生活も無理なくできるよう最後まで見守りたい。
<p>今月の内容(養護・教育)</p>		<p>環境構成</p>			<p>配慮事項</p>			<p>取り組みの状況と保育士の振り返り</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変わり目を、健康で快適に過ごせるよう工夫する。 ・戸外に出て、春の自然に触れたり、活発に行動して遊ぶ。 ・興味や関心に合わせ、色々な玩具を使って遊びを楽しむ。 ・保育者に言葉を添えてもらいながら友達と関わったり、一緒に遊ぶ事を楽しむ。 ・食事や着脱などの場面で、自らしようとする気持ちに共感してもらい、自分でする喜びを感じられるようにする。 ・あひる組クラスで生活する。(後半) ・お椀に手を添えてスプーンを持って食べるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・寒暖差が激しいので、室温の調節や、衣服の調節をこまめに行う。・保育者と手を繋ぎ、危険の無いよう歩く。 ・指先を使った遊びができる玩具を準備する。また、玩具だけでなく自由画等も取り入れて行く。(ロッククレヨン等使用) ・室内環境を清潔に保つ。 ・「自分で！」という言葉も聞かれるようになってきているので、大切に行けとめていく。 ・新しいクラスで緊張することの無いよう、興味のある玩具は移動させる等普段と変わらず遊べる環境を整える。 ・無理なく介助出来るよう保育者の配置を考える。 			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の歩きに合わせ、無理のない距離を歩けるようにする。歩けた事への満足感を味合わせる。 ・少人数で無理なく遊べるよう玩具の配置や、遊び方を工夫する。クレヨンなどは誤飲の危険もあるので注意しながら一緒に楽しむ。 ・体調の変化に気を配り、職員間や保護者と連携して予防や早期発見に努める。 ・自己主張を認め、見守りながらそっと介助していくことで、自分で出来たという満足感を味合わせる。 ・お椀に手を添えることで、すくいやすくなることをくり返し知らせていく。 			<ul style="list-style-type: none"> ・戸外に出る際は声を掛け、2～3名ずつ手を繋いで歩く機会を作るようにした。嫌がる子もいるが無理せず立ち乗りバギーを使用しながら友達の歩く姿を見ることで、意欲が出ることもあったので、新年度へと繋げていきたい。 ・新しいクラスは、目新しい玩具が多く、喜んで遊ぶ姿が見られたので良かったと思う。新担任に代わり、泣くことが無いようしっかりと引き継いでいきたいと思う。 	